

NEWS RELEASE

No.21-16

2022年1月24日

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

2020年度本科講座の成績優秀者を表彰

2020年度本科講座（7クラス編成）の修了認定を行い、各クラスの成績上位10%の134名を成績優秀者として表彰した（氏名は後掲）。

さらに成績優秀者のうち各クラス上位3名（計21名）には「本科特別成績優秀賞」を授与する。

本科講座は損害保険の基本的・体系的な知識の習得を目的としており、通信による学習とスクーリングで構成されている。（計13科目）本講座終了時の登録者数は1,545名、修了者数は1,318名で修了率は85.3%であった。

最後の学習プログラムとなるスクーリングは、昨年につき新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン配信で開催した。（2021年7月から12月にかけて計7回開催、1,536名が参加）保険種目の科目はWeb配信講義で事前に学習し、当日はWebテストとZoomによる特別講義（「ウィズ／アフターコロナのビジネス、保険、働き方はどう変わるか」牧野 司氏、「コンプライアンスについて」中央大学法科大学院・野村修也教授、「ESG経営の最新潮流-東証の市場再編とコーポレートガバナンスコード改訂-」法政大学人間環境学部・長谷川直哉教授）、「金融の基礎知識」の講義（神戸大学経済経営研究所 家森 信善所長・教授、明治大学商学部・浅井 義裕教授）やワークショップを実施した。

ワークショップは、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科の講師陣を招き、ZoomやMiroといったオンラインツールを活用しながらグループワーク（システム思考とデザイン思考でイノベティブに考える方法）を行った。

本講座の受講生からは以下のような感想が寄せられている。

- ・レポート作成や試験勉強を通して保険商品や金融知識といった基本的なことだけではなく、講義を通して損害保険業界全体を取り巻く社会動向まで学ぶことができ、保険会社社員として必要なスキルを身に付けるとてもいい機会となった。
- ・スクーリングの講義では、脱炭素化やSDGsの取り組みなど、まさに今私たちが推進していることをより詳しく知る機会となった。こうした社会の動向をアンテナ高く見極め、いち早く取り組みを進めてこそ社会に選ばれる保険会社になるのだと感じた。
- ・スクーリングのワークショップでは、保険業務から一歩離れて考える内容が面白いと感じた。他社の方とグループワークをすることで、異なる視点や価値観、考え方を聞くことができて新鮮だった。同期や年次の近い人が多いと感じたが、中には経験豊富な方もいらっ

しゃって普段とは異なる空間で学びを深めることができた。

損保総研は、より充実した学習機会を提供できるよう、受講各社人事部門等とも情報交換を行い、本科講座の内容向上に努めていく。

【2020年度本科講座の受講スケジュールおよび受講科目】

クラス	通信科目受講期間	スクーリング
A	2020年7月～2021年4月	2021年7月8日、9日
B		2021年7月15日、16日
C	2020年8月～2021年5月	2021年9月16日、17日
D		2021年10月7日、8日
E	2020年9月～2021年6月	2021年10月21日、22日
F		2021年11月11日、12日
G		2021年12月2日、3日

通信科目：保険総論、損害保険市場論、保険契約法、保険業法、リスクマネジメント、再保険論、事故対応実務の基礎、海上保険論

スクーリング試験科目：金融の基礎知識、火災保険論、自動車保険論、新種保険論、損害保険会計

成績優秀者の公表につきましては、「掲載日を所属会社にあらかじめ連絡する」ということで了承を得ております。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
教育研修部 田中 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。